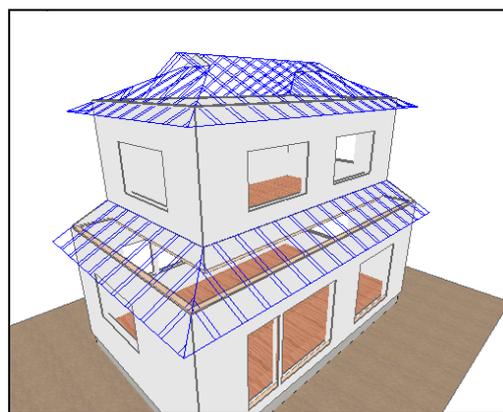


住宅性能診断士
ホームズ君

省エネ診断



操作マニュアル（屋根入力）



本マニュアルは、実例を通して屋根の作成方法を説明しています。

- 例題 1) 寄棟母屋下がりの屋根入力
- 例題 2) 入母屋の屋根入力

 **INTEGRAL**[®]

株式会社インテグラル

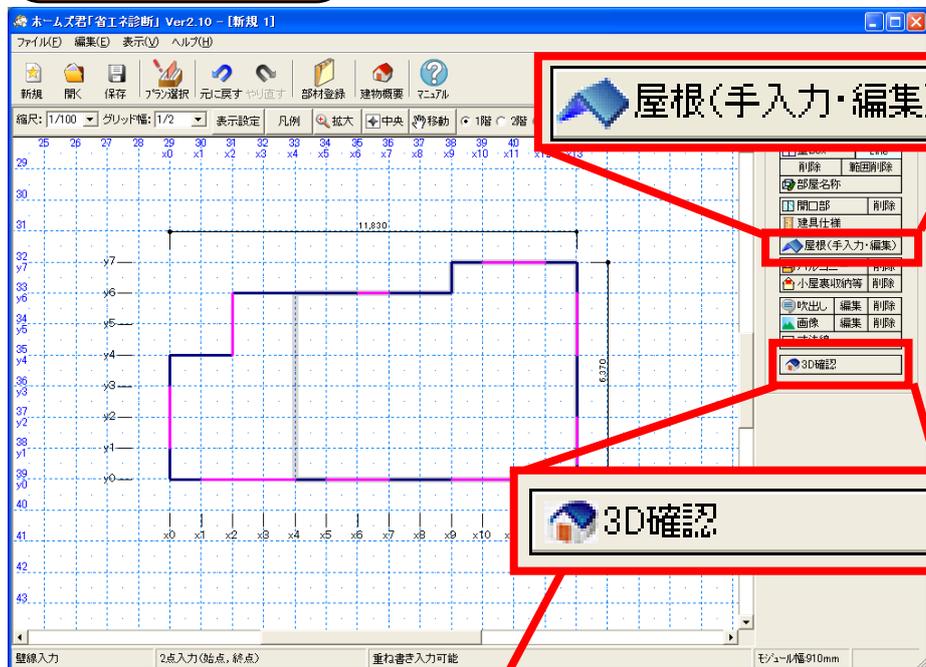
《目 次》

屋根作成ウィンドウ、3D確認	1
屋根作成の流れ（フローチャート）	2
1. 屋根作成の手順（例題1：寄棟母屋下がりの屋根入力）	3
1-1 面入力	4
1-2 登り方向	7
1-3 勾配	11
1-4 軒出	13
1-5 削除	18
2. 屋根作成の手順（例題2：入母屋の屋根入力）	20
2-1 面入力	21
2-2 登り方向	23
2-3 軒出	24

屋根作成ウィンドウ、3D確認

屋根を作成する際は、「3D確認」画面を見ながら入力を行うと、簡単に短時間で作成することができます。

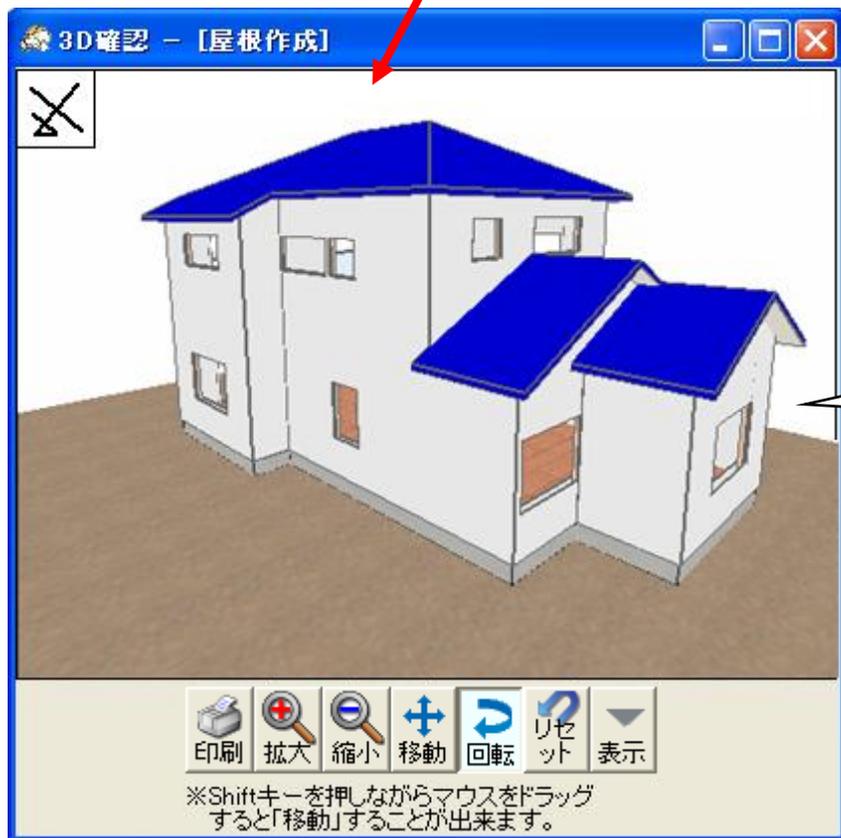
CAD画面



屋根編集ボタン



3D確認



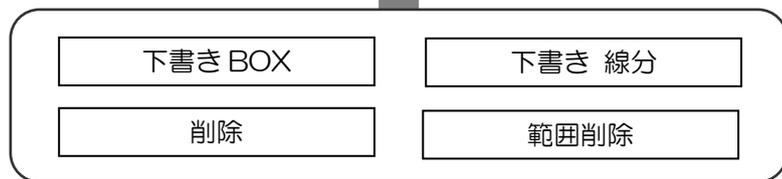
屋根の入力はこのウィンドウを使って行います。

屋根形状を3D画像で確認しながら入力できます。

屋根作成の流れ（フローチャート）

屋根の入力は、[CAD 入力]画面で行います。
 [CAD 入力]画面で[屋根（手入力・編集）]ボタンをクリックすると、屋根を作成・編集するためのウィンドウが開きます。
 屋根を作成するための手順は以下の通りになります。

1. 面入力



屋根面 確定

2. 登り方向

登り方向

3. 勾配

勾配 (0~10 寸)

勾配単面 / 勾配全面

4. 軒出

軒出調整 増減幅(mm)

5. 軒天

水平軒天

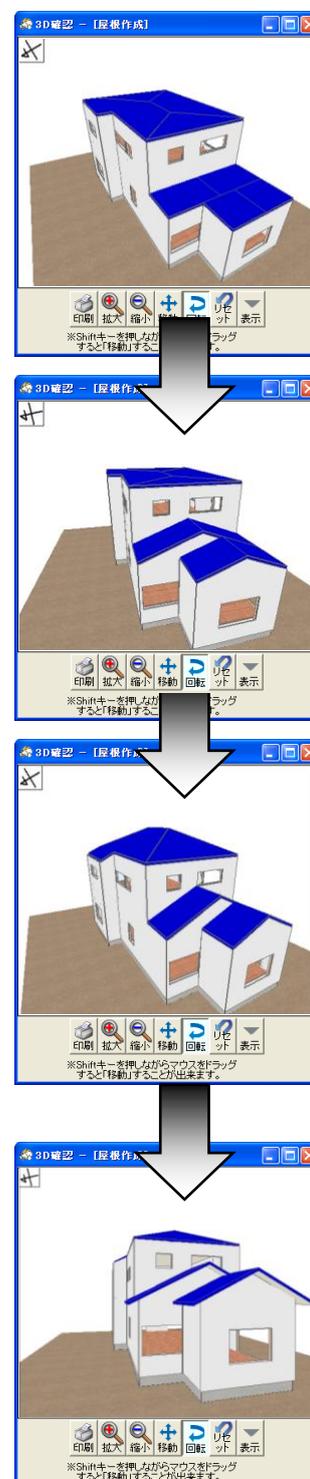
勾配軒天

6. 削除

屋根 単面削除

屋根 全面削除

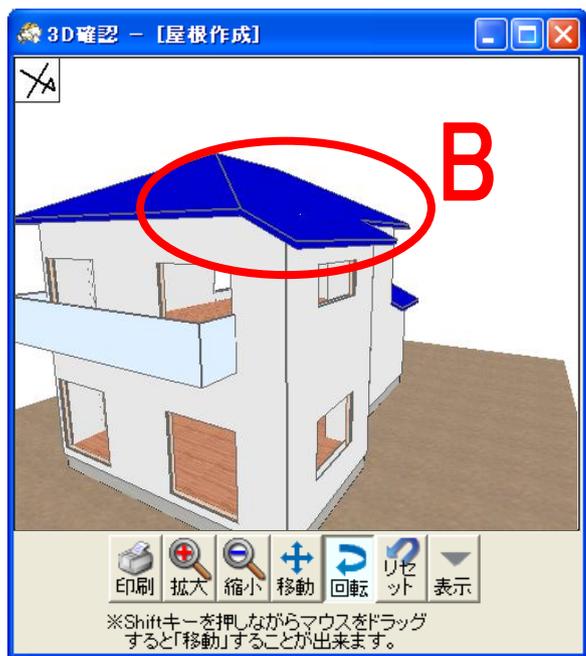
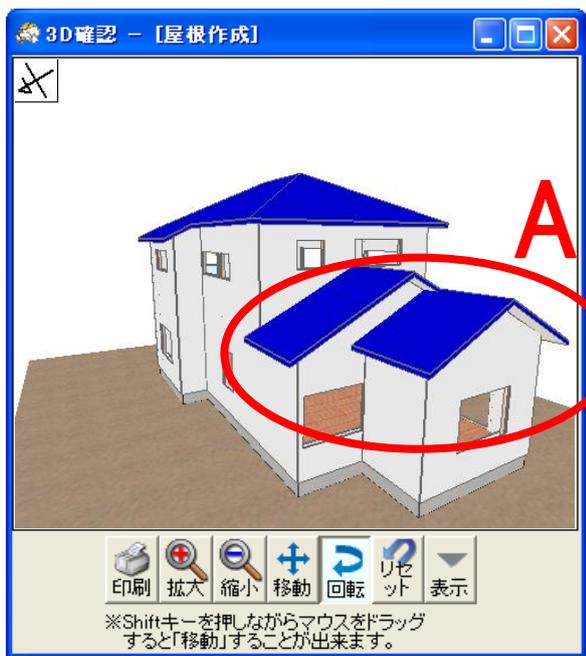
終了



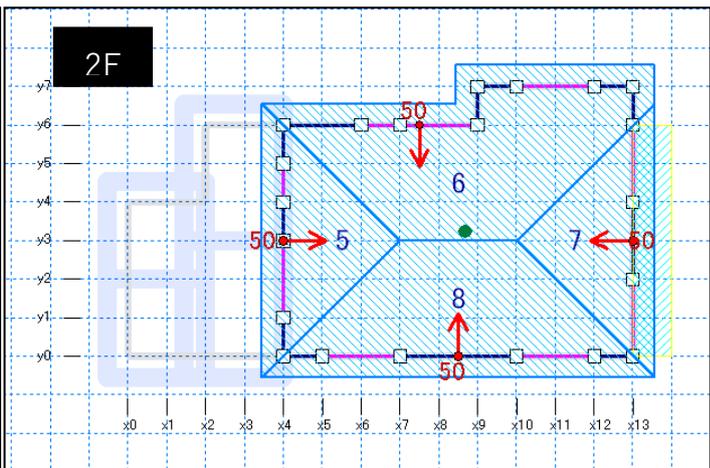
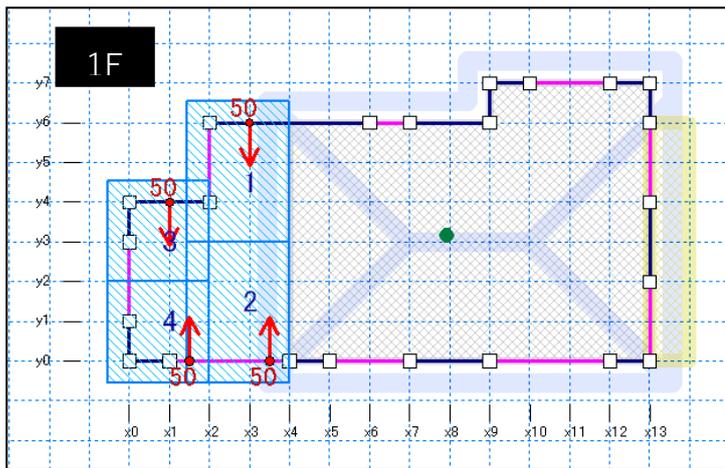
1. 屋根作成の手順（例題1：寄棟母屋下がりの屋根入力）

例題1：寄棟母屋下がりの屋根入力

完成イメージ（3D 確認）



完成イメージ（屋根伏図）



- この建物の屋根の特徴
- A の箇所 → 1階西側の切妻が重なっている。
 - B の箇所 → 2階北側に母屋下がりの屋根がある。



1-1 面入力

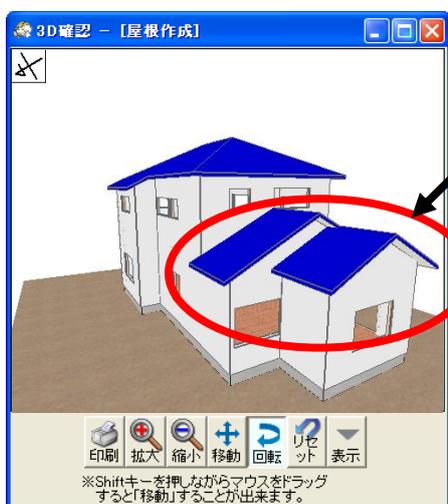
屋根の入力は、以下の手順で行います。

- ①「屋根下書き線の入力」
- ②「屋根面の確定」

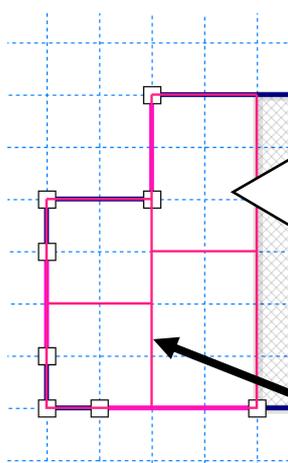
💡 屋根の下書き線とは？

手書きで作図するような感覚で、屋根の入力が行えます。形状が決まったら、[屋根面 確定] ボタンをクリックするだけで下書き線を屋根面として自動認識します。

STEP1 1階の切妻屋根の下書き線を入力する



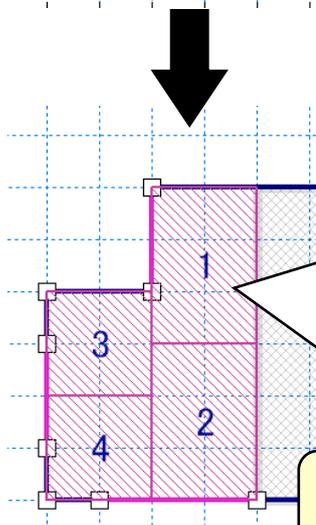
1階の切妻屋根（赤丸部分）の入力を行います。



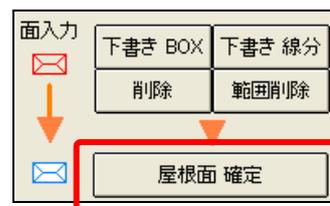
①下書き線の入力をします。（2点入力）



下書き線を入力するとピンク色の線が表示されます。



②下書き線の入力後、[屋根面 確定]を押して屋根面を確定します。

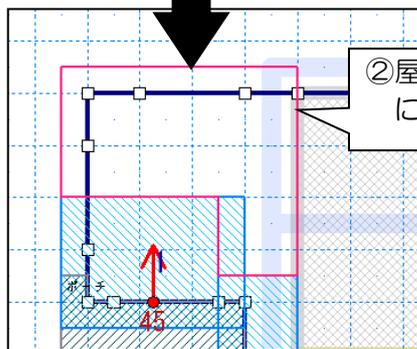
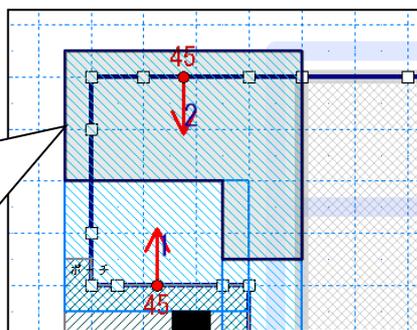


屋根面が確定されると屋根番号（1～4）が表示されます。

💡 屋根面を確定した後に修正したい場合は？

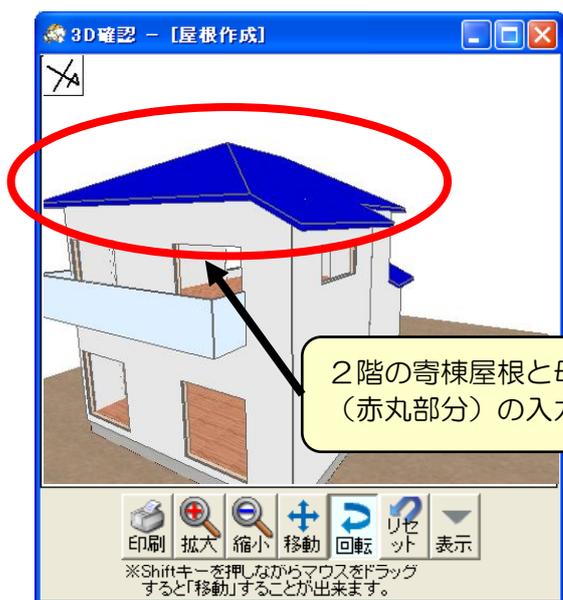
「単面削除後、下書きに戻す」にチェックをつけてから、[屋根 単面削除]を行うと屋根を下書き線（ピンク線）に戻すことができます。

①「単面削除後、下書きに戻す」にチェックをつけ、[屋根 単面削除]をクリックした状態で、該当する屋根面をクリックします。

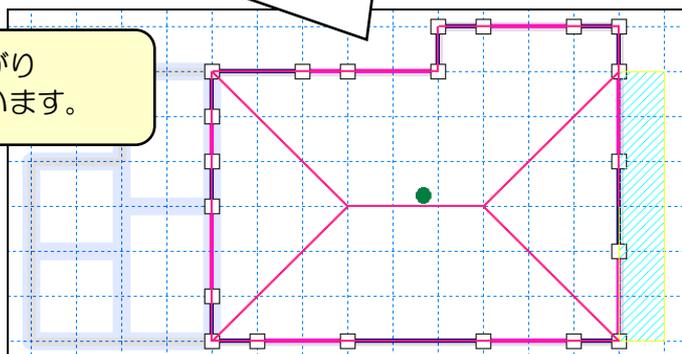


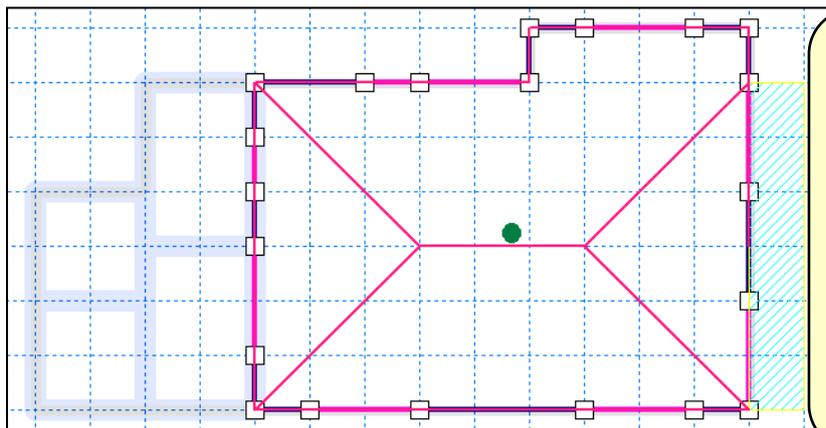
②屋根が下書き線（ピンク線）に戻ります。

STEP2 2階の寄棟の下書き線を入力する



①下書き線の入力を行います。（2点入力）



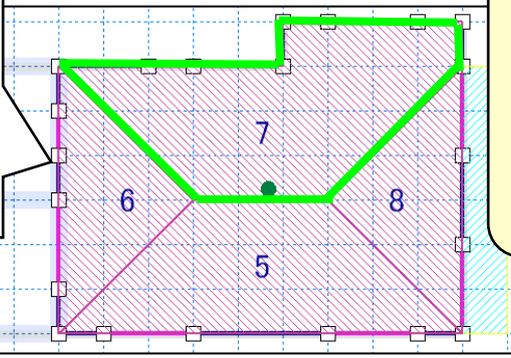


【下書き線の削除】
下書き線を間違えた場合は、[削除] ボタンを押した状態で、入力した線の上をなぞると削除できます。

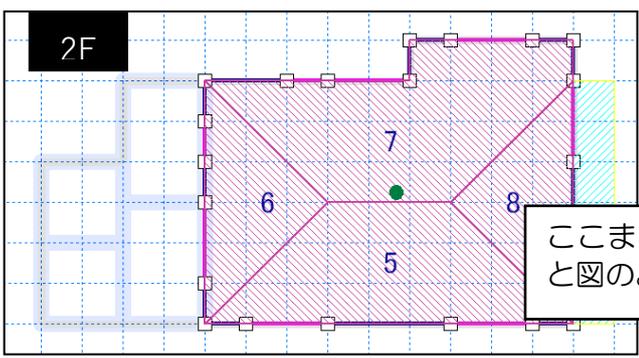
面入力	下書き BOX	下書き 線分
↓	削除	範囲削除
	屋根面 確定	

②下書き線の入力後、
[屋根面 確定]を押して
屋根面を確定します。

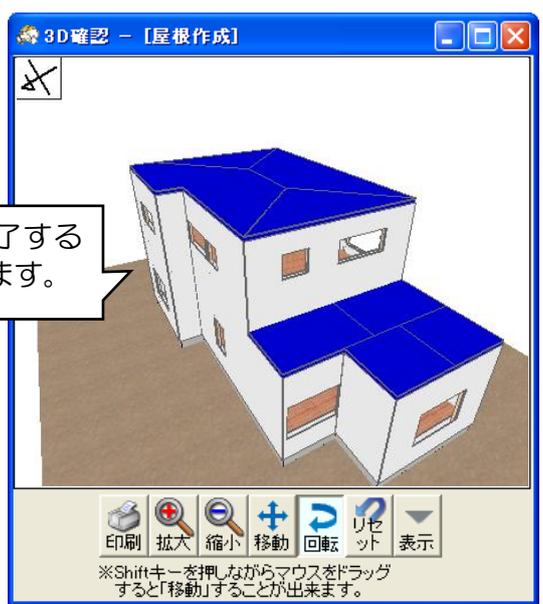
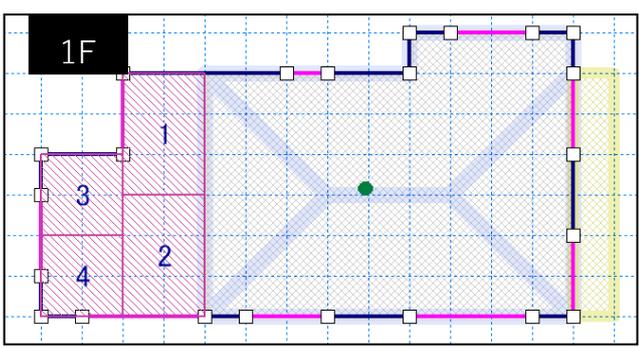
面入力	下書き BOX	下書き 線分
↓	削除	範囲削除
	屋根面 確定	



【入力のポイント】
母屋下がりへの入力は左図のように
1面（緑線）で入力します。
（屋根面7）
※説明の為に、緑線で強調しています。実際の
画面では緑線は表示されません。



ここまで作業が完了すると図のようになります。



屋根面1～8が入力されています。

1-2 登り方向

登り方向では、屋根の勾配の方向および屋根の地回りレベルを決定します。

STEP1 1階の切妻屋根の登り方向を決定する

① 1点目
[登り方向]ボタンをクリックした状態で屋根面をクリックします。クリックすると強調表示されます。

登り方向

各屋根面の登り方向を入力します。
入力方法は3点入力です。

1点目：登り方向を設定する屋根面をクリックします。
2点目：屋根の地回りレベルをクリックします。
3点目：登り方向を指定します。

② 2点目
屋根の地回りレベルをクリックします。

③ 3点目
登り方向を指定します。

④ 同様にして他の屋根面の登り方向も入力します。

※ ピンク色の斜線になっている屋根面は、登り方向が決定していない屋根面です。
※ 決定すると水色の斜線になります。

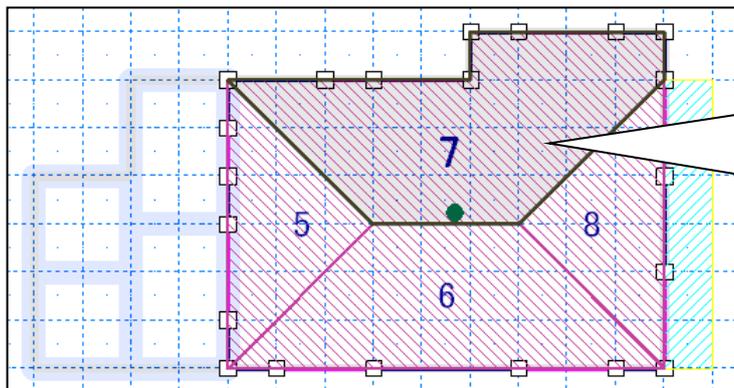
⑤ここまで作業をすると図のようになります。

3D確認 - [屋根作成]

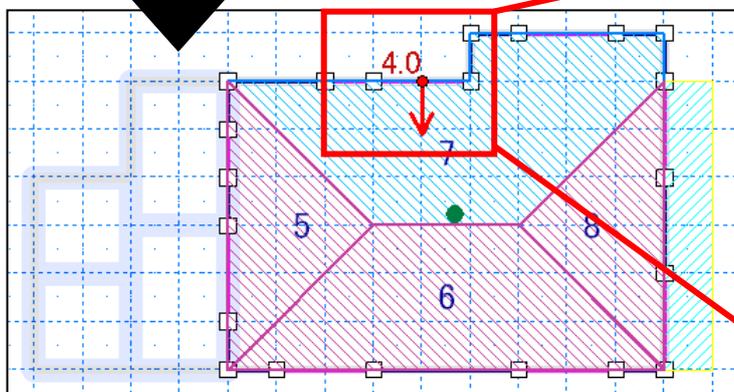
印刷 拡大 縮小 移動 回転 リセット 表示

※Shiftキーを押しながらマウスをドラッグすると「移動」することができます。

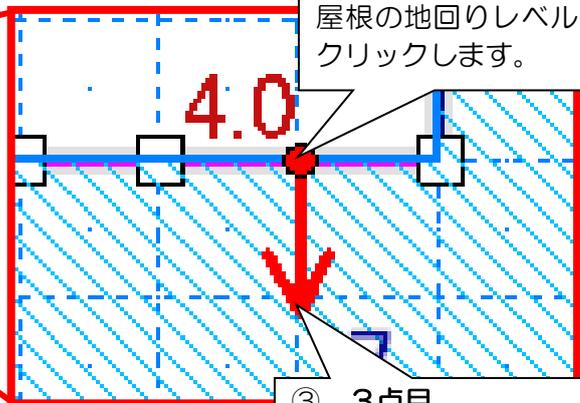
STEP2 2階の寄棟の登り方向を決定する



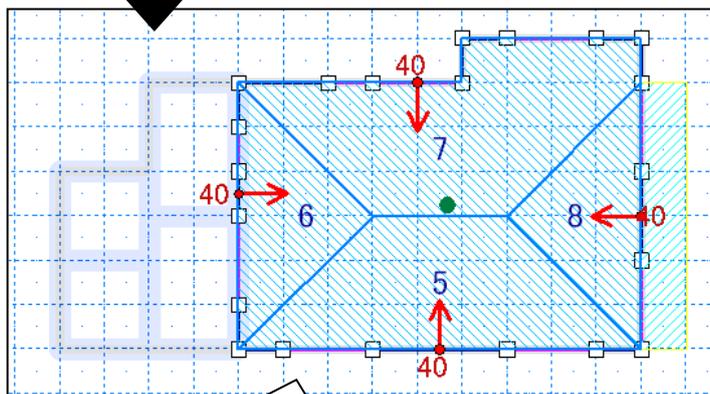
① 1点目
屋根面をクリックすると強調表示されます。



② 2点目
屋根の地回りレベルをクリックします。

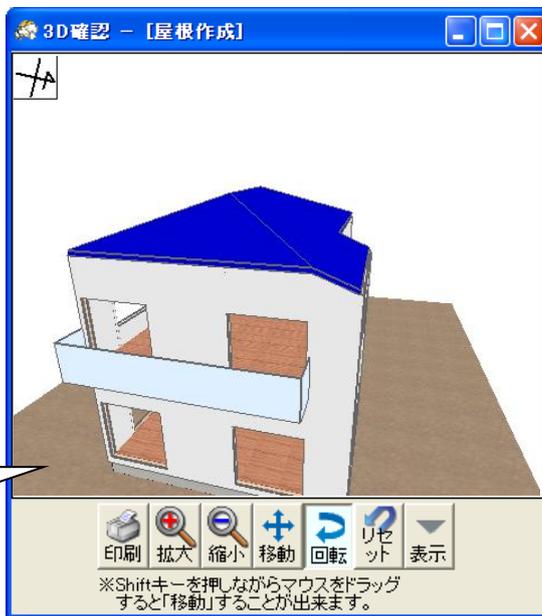


③ 3点目
登り方向を指定します。



④同様にして他の屋根面登り方向を入力します。
登り方向が決定していない屋根面はピンク色の斜線になっています。

⑤ここまで作業をすると図のようになります。

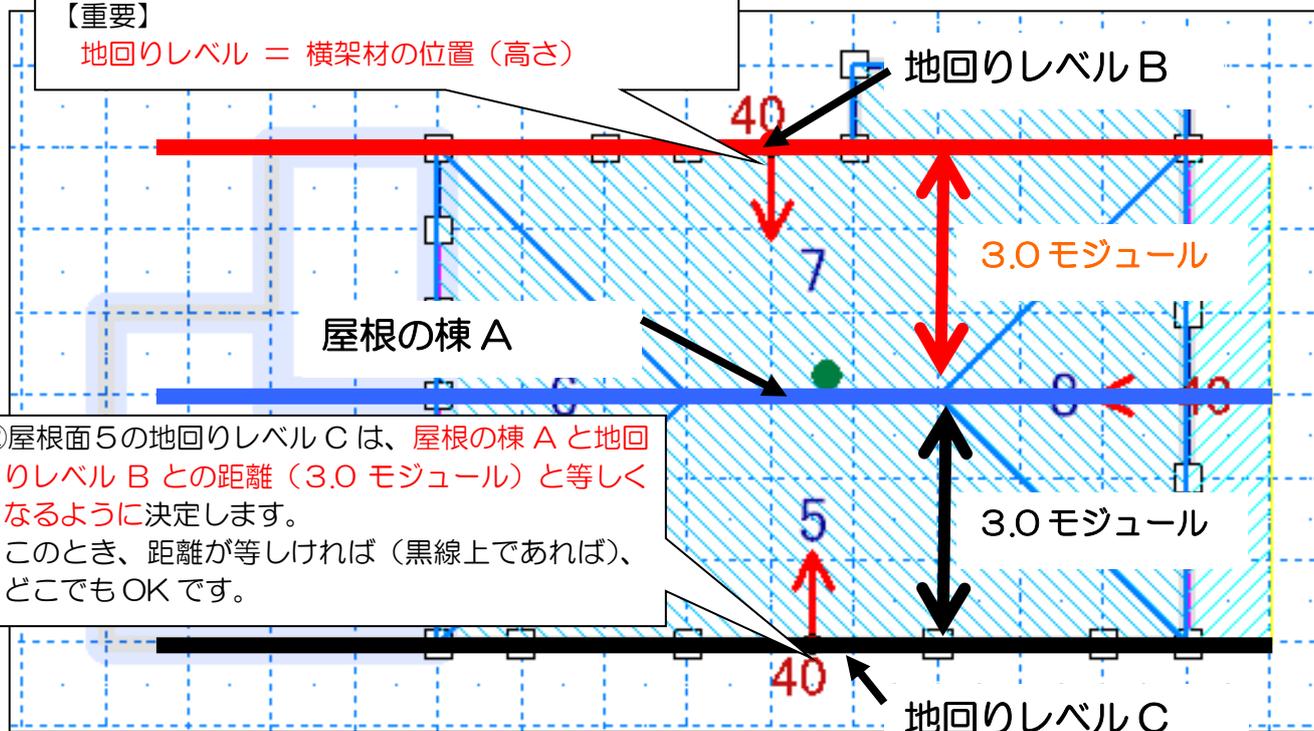


💡 地回りレベルの決め方

① 1点目の登り方向（屋根面 7）を決定します。
このとき、地回りレベル B と屋根の棟 A までの距離は 3.0 モジュールです。

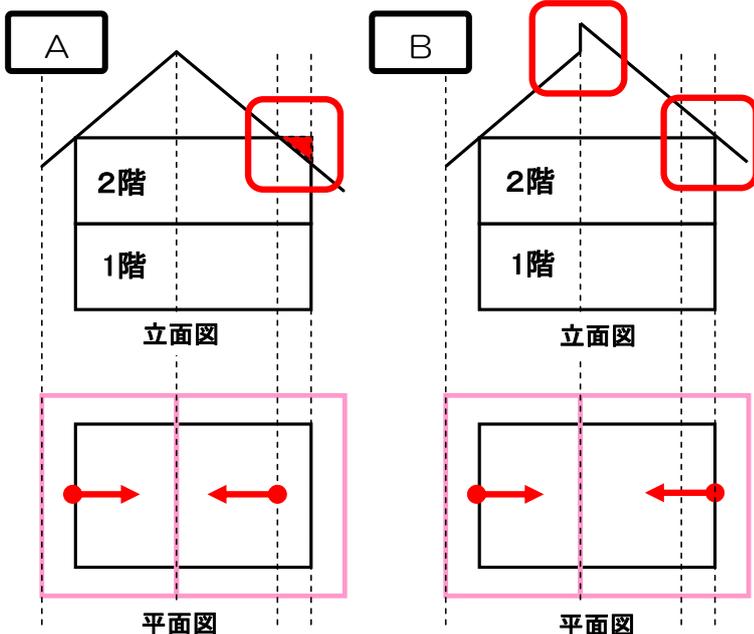
【重要】

地回りレベル = 横架材の位置（高さ）



② 屋根面 5 の地回りレベル C は、屋根の棟 A と地回りレベル B との距離（3.0 モジュール）と等しくなるように決定します。
このとき、距離が等しければ（黒線上であれば）、どこでも OK です。

💡 地回りレベルと屋根の架かり方



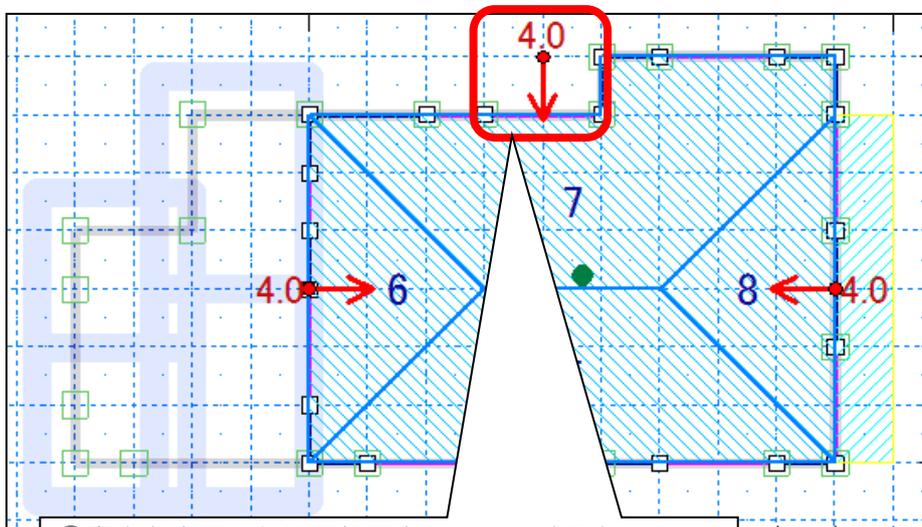
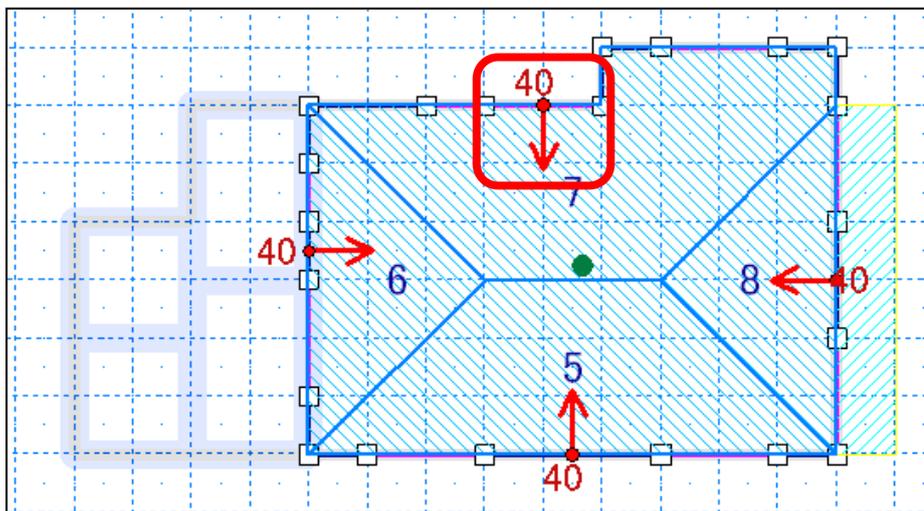
地回りレベルと屋根の架かり方は左図のようになります。

■ [A] の場合
地回りレベルより右側については母屋下がりとなります。

■ [B] の場合
地回りレベルから屋根の棟の位置までの距離が異なるため、棟の位置で屋根が一致しません。

💡 増減高さを指定して、屋根の高さを変更する

具体的に増減高さ(mm)を設定して、地回りレベルを調整することもできます。



- ①高さ変更の方向(上/下)を設定します。
- ②増減高さを設定します。
- ③「高さ変更」ボタンをクリックします。

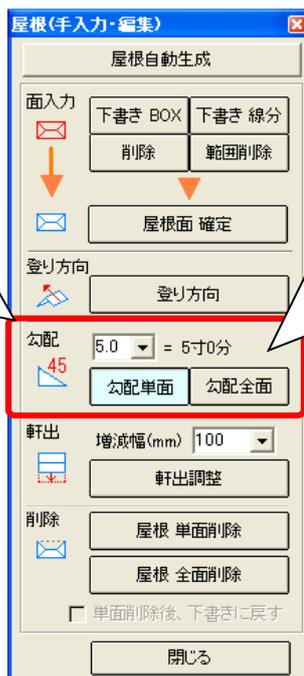
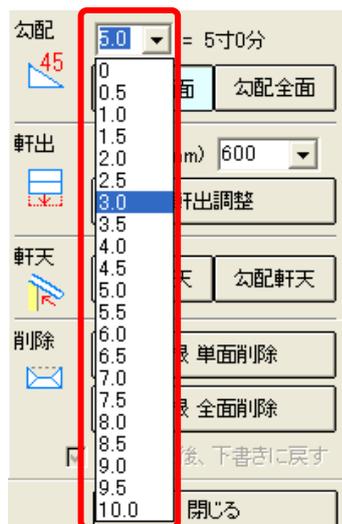
④高さを変更したい屋根面をクリックすると、設定した増減高に応じて、地回りレベル(赤い矢印の始点)が移動します。

1-3 勾配

「1-2 登り方向」が決定したら、各屋根面の勾配を決定します。
勾配は屋根面ごとに設定する必要があります。

STEP1 1階の切妻屋根の勾配を決定する

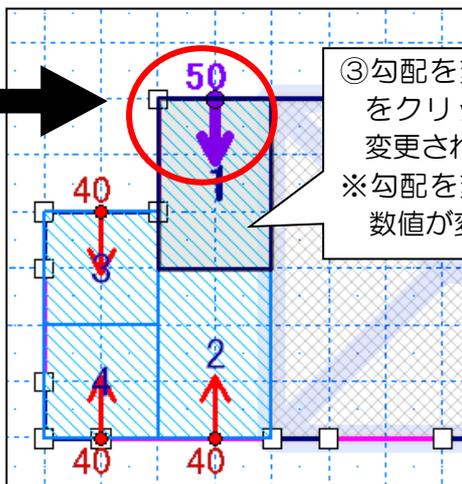
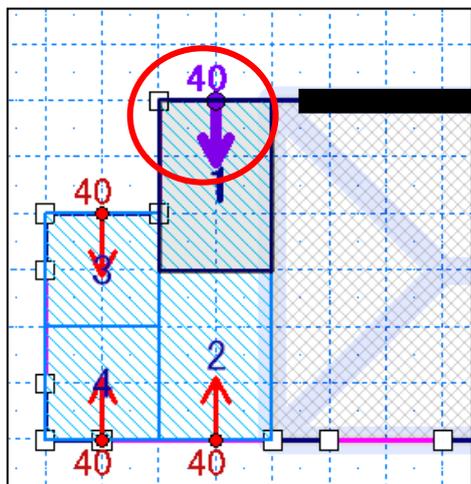
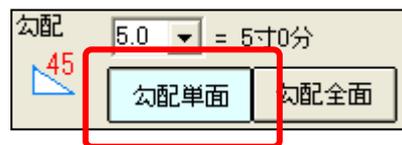
①勾配を選択します。



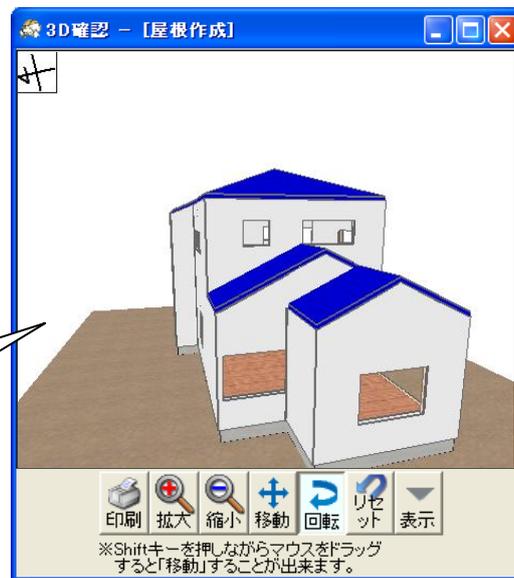
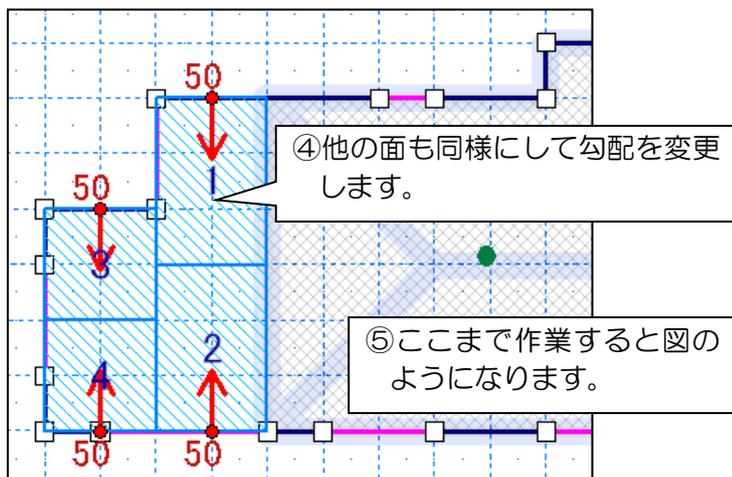
②勾配を変更する対象の面（単面または全面）を選択します。

勾配単面→指定した屋根面の勾配を設定します。

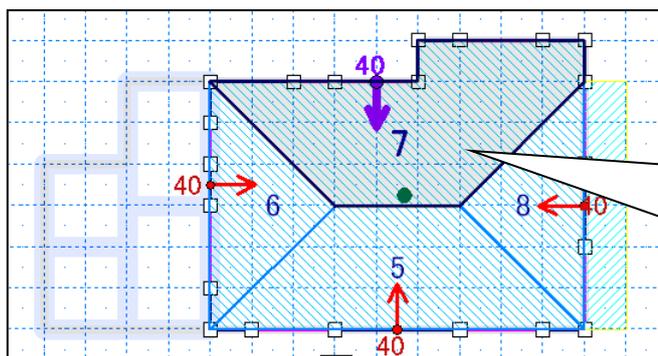
勾配全面→作業中の階にあるすべての屋根面の勾配を設定します。



③勾配を変更したい屋根面をクリックすると勾配が変更されます。
※勾配を変更すると勾配の数値が変わります。



STEP 2 2階寄棟の勾配を決定する



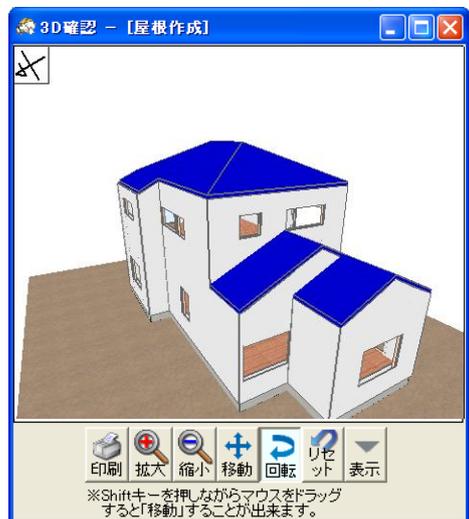
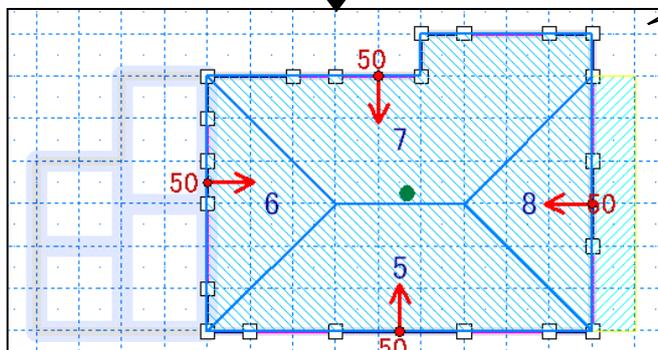
①勾配を選択し、該当する屋根面を選択してクリックします。

勾配 5.0 = 5寸0分

45

勾配単面 勾配全面

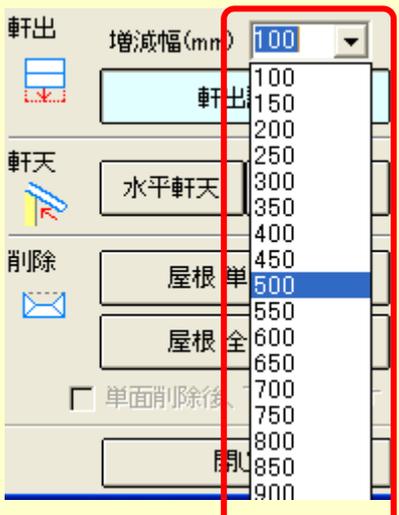
②他の面も同様にして勾配を変更します。



1-4 軒出

屋根の「1-2 登り方向」、「1-3 勾配」の入力が終わったら、軒の出（ケラバの出）の調整を行います。調整方法は、入力した軒先からの増減幅（mm）を決めて行います。

軒先から調整したい軒出の長さ（mm）を設定します。
※数値を手入力することも可能です。



屋根(手入力・編集)

屋根自動生成

面入力
下書き BOX 下書き 線分
削除 範囲削除
屋根面 確定

登り方向
登り方向

勾配
4.0 = 4寸0分
勾配単面 勾配全面

軒出
増減幅(mm) 500
軒出調整

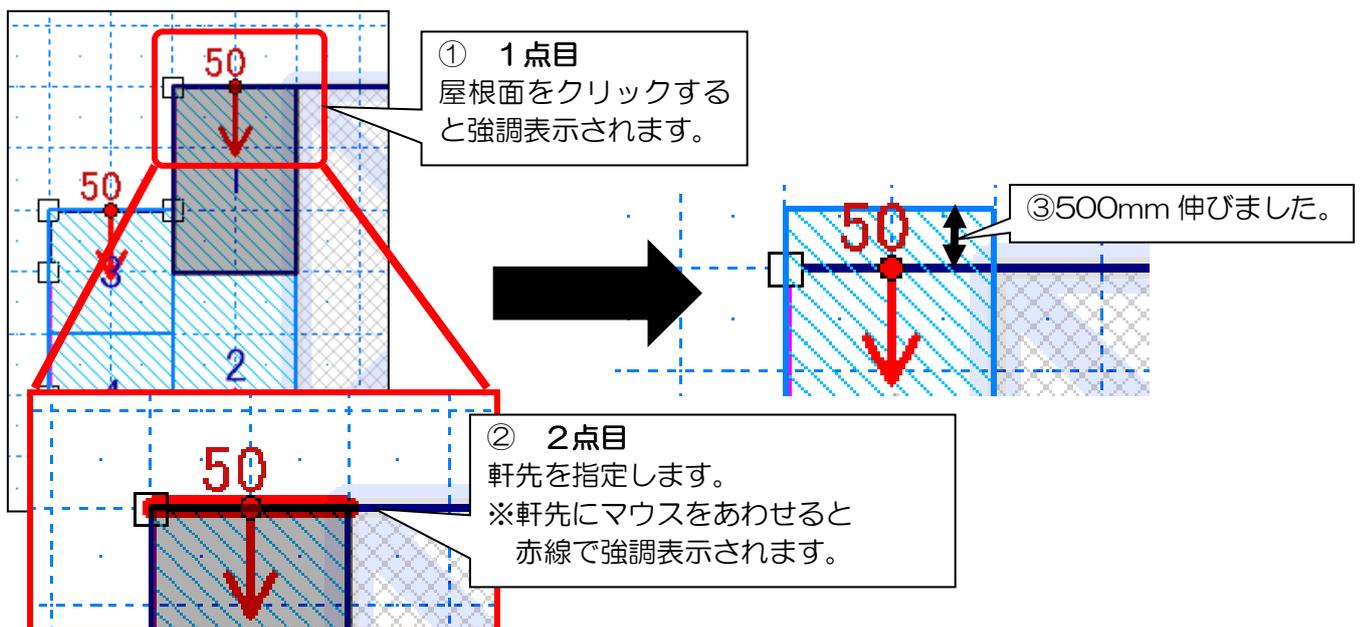
削除
屋根 単面削除
屋根 全面削除
単面削除後、下書きに戻す
閉じる

軒出の調整方法は、2点入力で行います。軒先から調整したい軒出の長さ（mm）を指定して、調整したい軒先を選択します。

1点目：軒出の設定を行う屋根面を選択します。
2点目：軒先を指定します。
※軒先にマウスをあわせると赤線で強調表示されます。



STEP1 1階の切妻屋根の軒の出（ケラバの出）を調整する

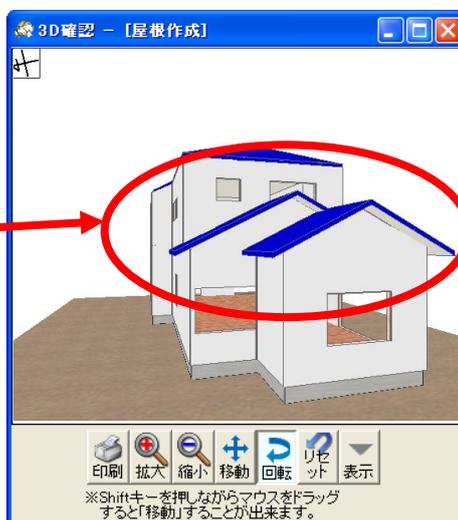
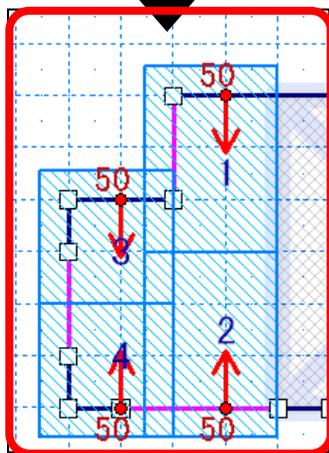
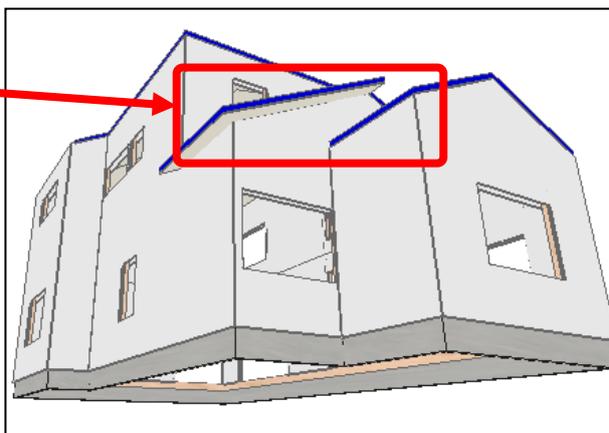
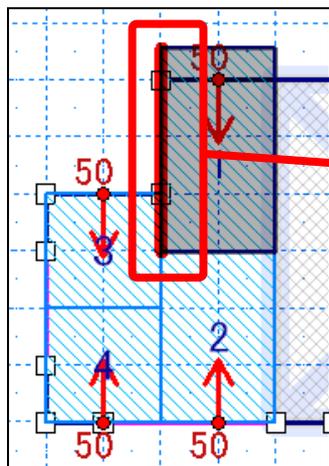


① 1点目
屋根面をクリックすると強調表示されます。

③ 500mm 伸びました。

② 2点目
軒先を指定します。
※軒先にマウスをあわせると赤線で強調表示されます。

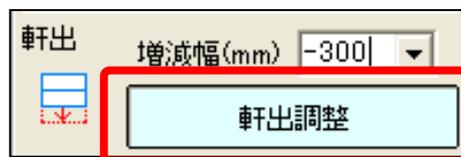
軒の出の調整（増減）は、屋根面のどの軒先からでも調整することができます。



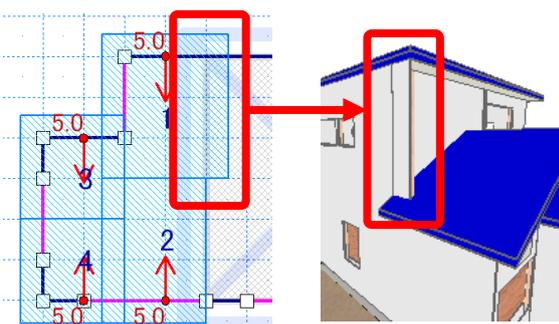
💡 軒の出を短くしたい場合は？

軒出を短くしたい場合は“-” マイナスで入力します。

例) 300mm 短くする場合
→ “-300” と入力

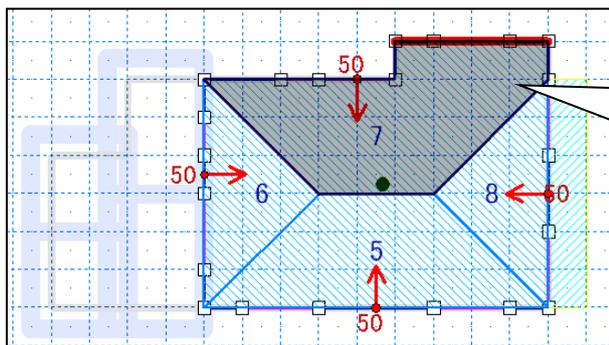


💡 建物の内側に屋根が入らないように設定する。

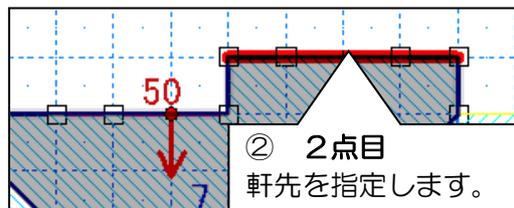


建物の内側に屋根が入り込んでしまうと、正確に屋根を架けることができなくなります。

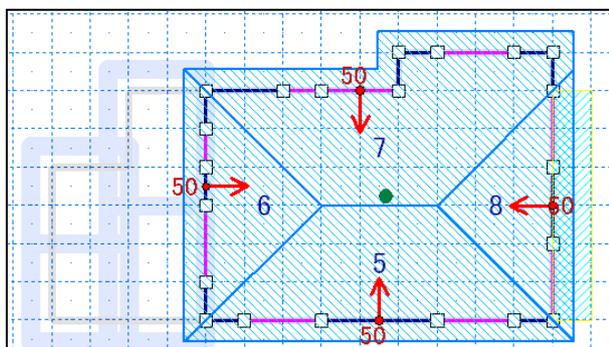
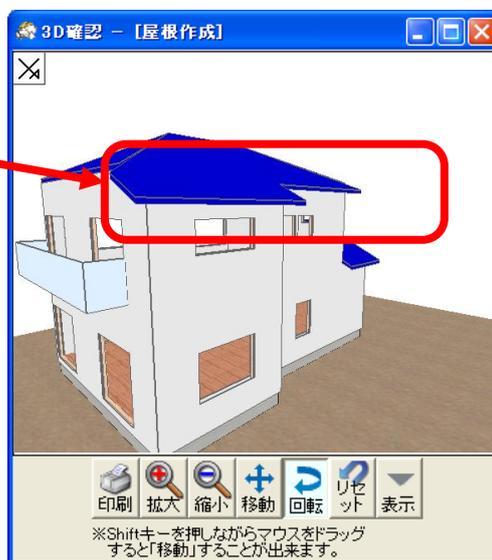
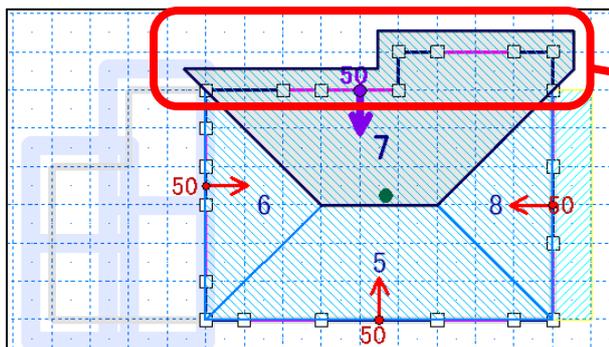
STEP2 2階の寄棟屋根の軒の出（ケラバの出）を調整する



① 1点目
屋根面をクリックすると強調表示されます。



② 2点目
軒先を指定します。
※軒先にマウスをあわせると赤線で強調表示されます。



③同様に、他の屋根面についても軒の出を調整します。



④ここまで作業をすると図のようになります。

以上で屋根の作成（例題1）は終了です。

1-5 削除

すでに入力した屋根の削除方法を説明します。

削除の方法は以下の2種類があります。

- ①単面削除・・・選択した屋根面のみを削除します。
- ②全面削除・・・画面上で現在作業をしている階の屋根面をすべて削除します。

①単面削除

①[屋根 単面削除]ボタンをクリックします。

②削除したい屋根面をクリックします。
※選択された面は強調表示されます。

③クリックした屋根面が削除されました。



屋根面を下書き線に戻す方法

「単面削除後、下書きに戻す」にチェックをつけてから、[屋根 単面削除]を行うと屋根を下書き線（ピンク線）に戻すことができます。

①[屋根 単面削除]ボタンをクリックします。
このとき、「単面削除後、下書きに戻す」にチェックをつけておきます。

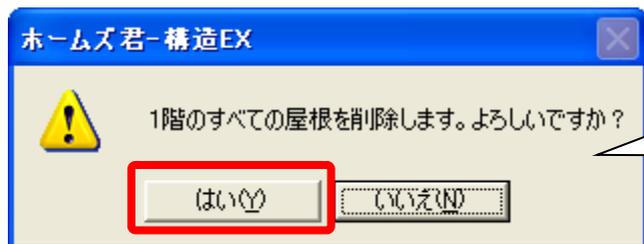
②削除したい屋根面をクリックします。

③屋根が下書き線（ピンク線）に戻ります。

②全面削除

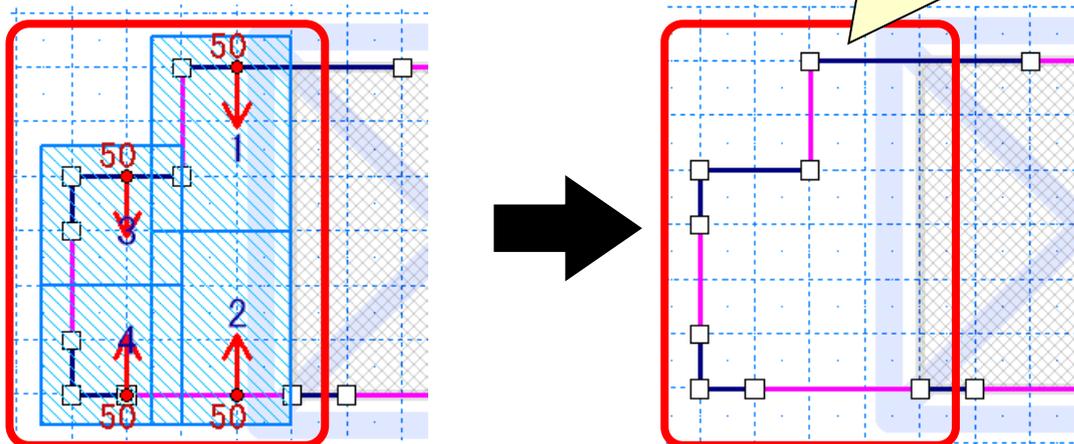


①[屋根 全面削除]ボタンをクリックします。



②メッセージが表示されます。該当する階が正しいことを確認してから「はい」をクリックします。

該当する階の屋根面がすべて削除されました。



💡 間違っって消してしまったので、元に戻したい場合は？

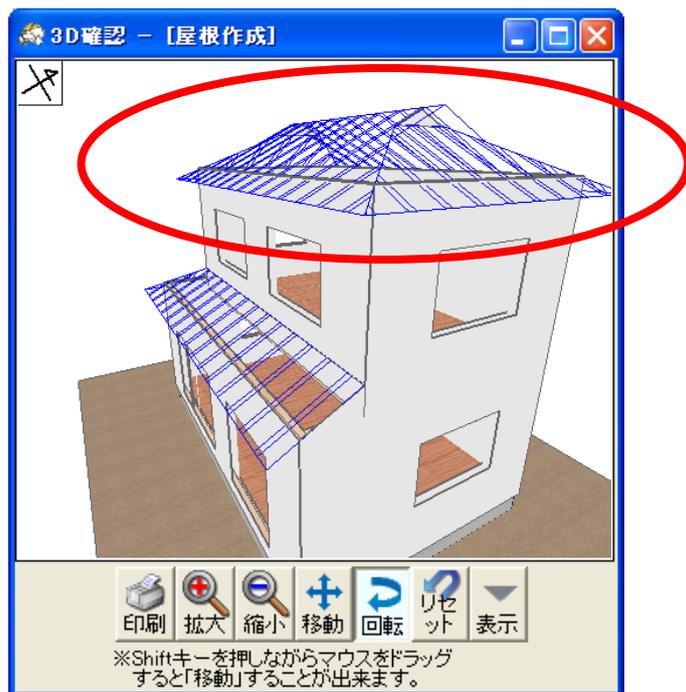
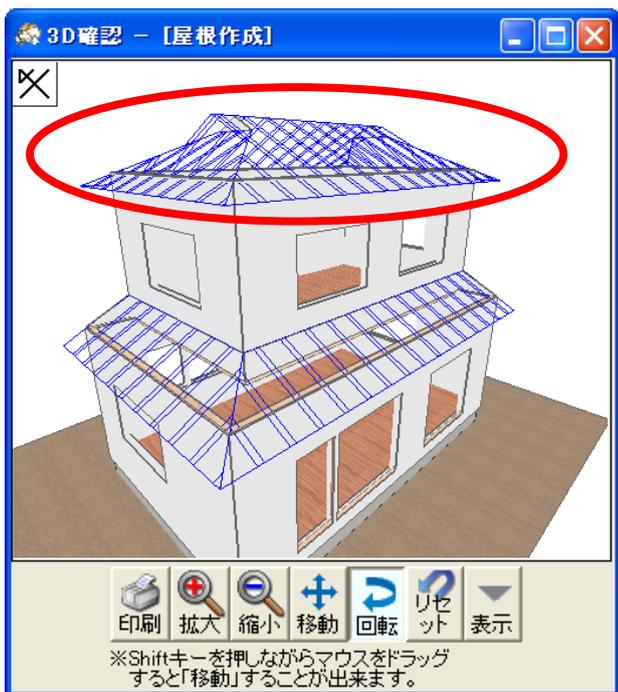


2. 屋根作成の手順（例題2：入母屋の屋根入力）

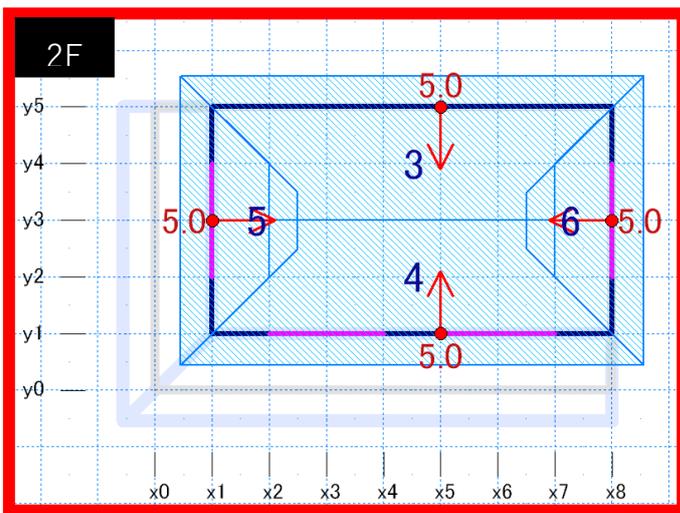
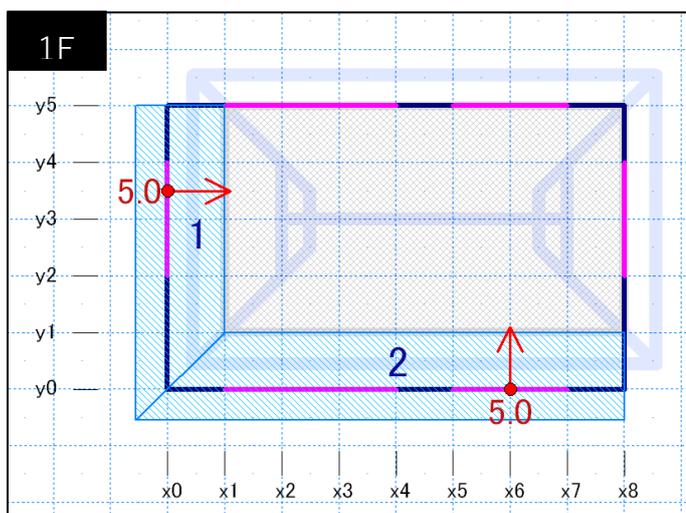
例題2：入母屋の屋根入力

注意）2階入母屋屋根の入力を説明します。1階屋根の入力は省略しています。

完成イメージ（3D確認）



完成イメージ（屋根伏図）

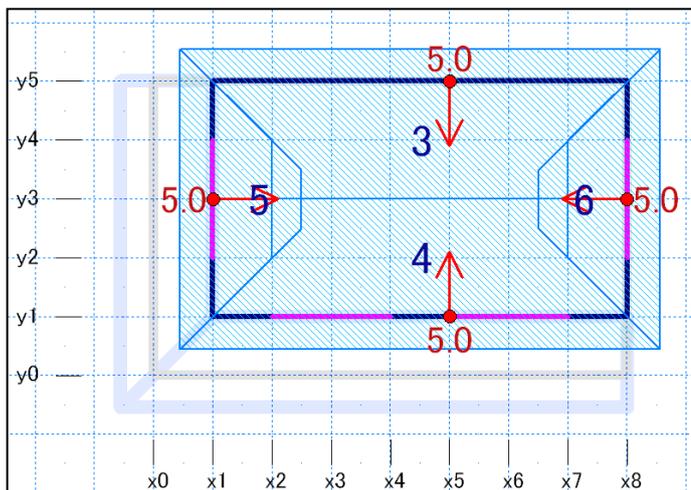




2-1 面入力（下書き線の入力+屋根面確定）

2階の入母屋の完成図は以下の通りです。

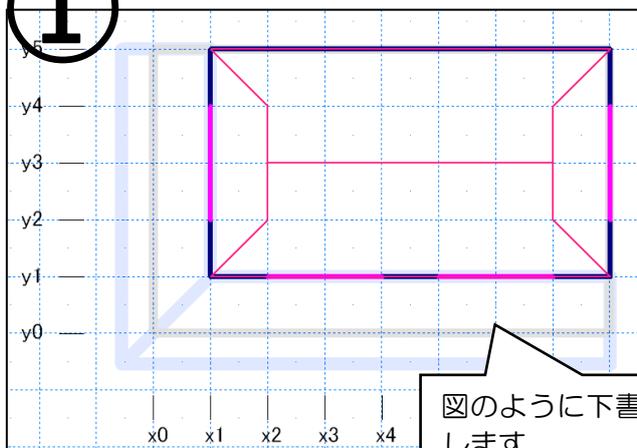
完成イメージ（屋根伏図）



完成イメージ（3D 確認）

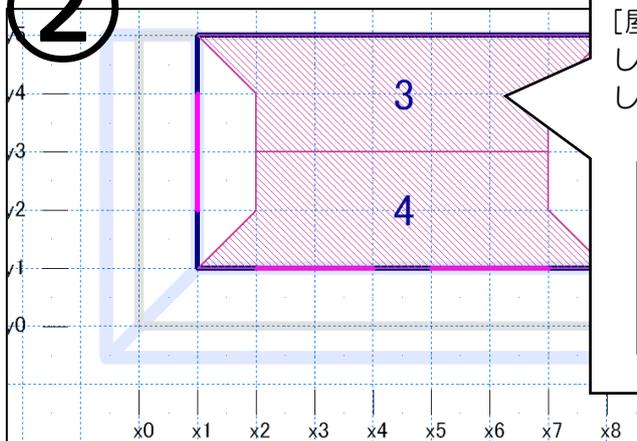


①

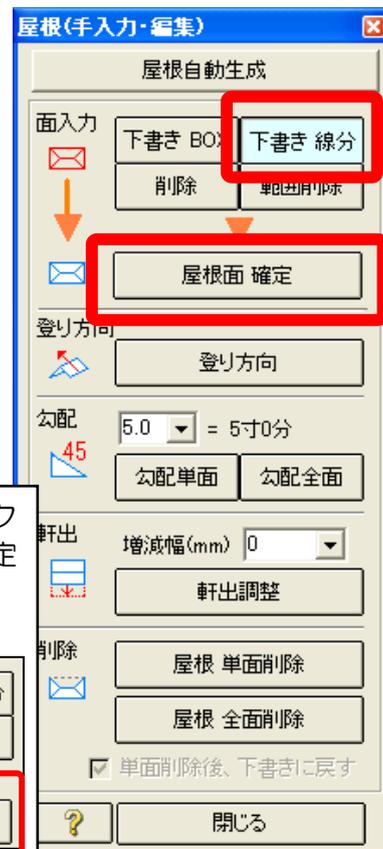
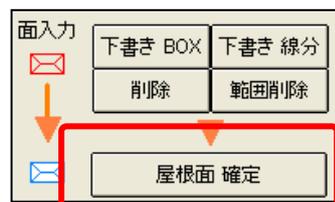


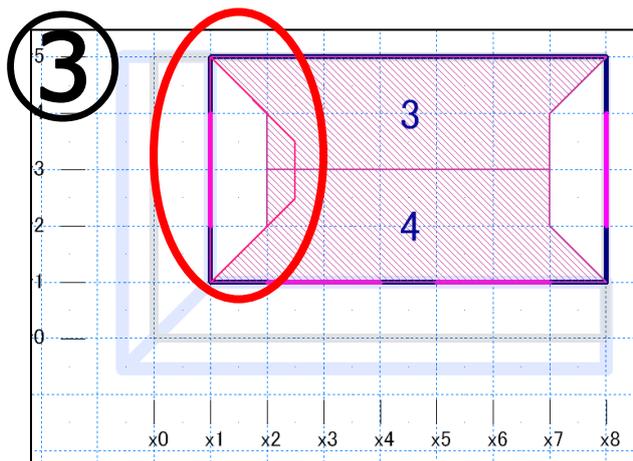
図のように下書き線を入力します。

②



[屋根面 確定]をクリックして、屋根（3、4）を確定します。



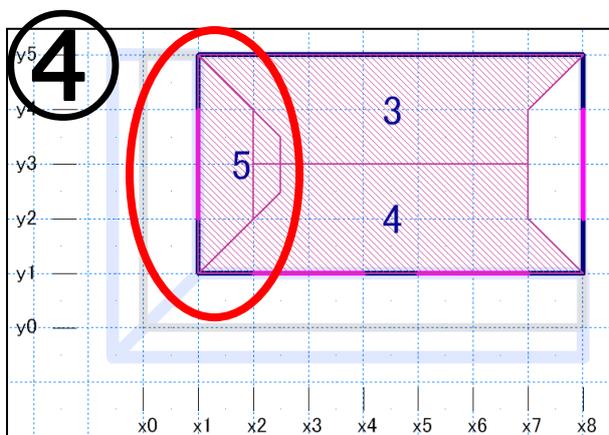
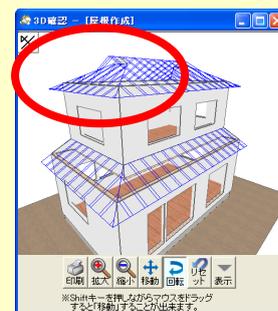
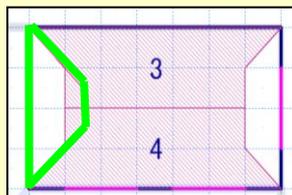


左側（赤丸の中）に下書き線を入力します。

【入力のポイント】

入母屋部分は下図のように入力します。

※説明の為に、緑線で強調しています。実際の画面では緑線は表示されません。



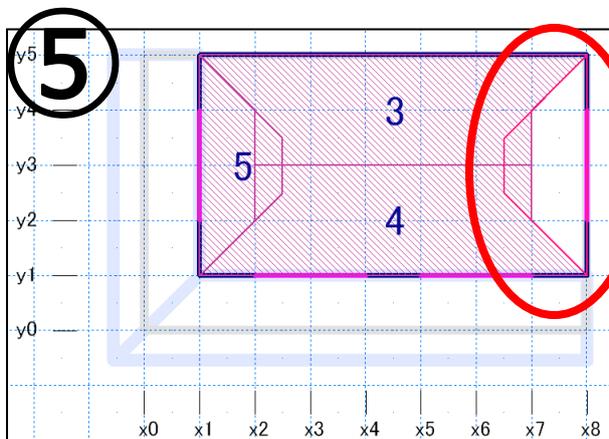
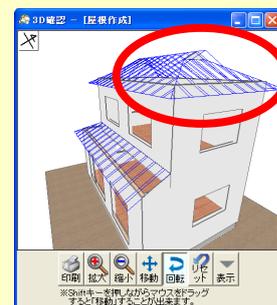
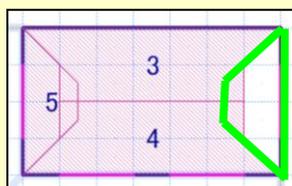
[屋根面 確定]をクリックして、屋根5を確定します。

右側（赤丸の中）に下書き線を入力します。

【入力のポイント】

入母屋部分は下図のように入力します。

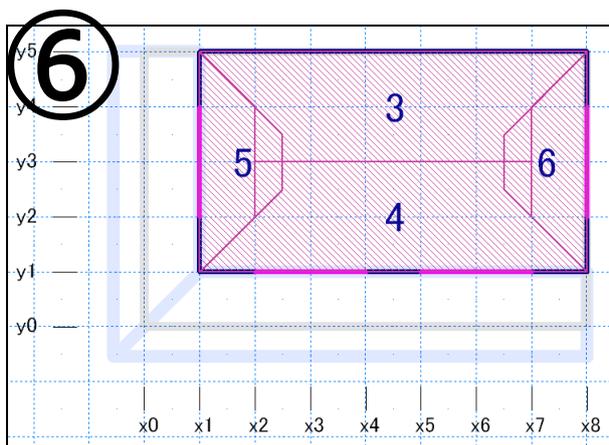
※説明の為に、緑線で強調しています。実際の画面では緑線は表示されません。



[屋根面 確定]をクリックして、屋根6を確定します。

【屋根の削除】

屋根の削除方法については、P17「1-6 削除」を参照ください。





2-2 登り方向

登り方向では、屋根の勾配の方向および屋根の地回りレベルを決定します。

① 1点目
[登り方向]ボタンをクリックした状態で屋根面をクリックします。クリックすると強調表示されます。

② 2点目
屋根の地回りレベルをクリックします。

③ 3点目
登り方向を指定します。

④同様にして他の屋根面(屋根面4、5、6)の登り方向も入力します。

※ ピンク色の斜線になっている屋根面は、登り方向が決定していない屋根面です。
※ 決定すると水色の斜線になります。

【地回りレベルの決め方】
本マニュアルP9「地回りレベルの決め方」を参照してください。

屋根(手入力・編集)

屋根自動生成

面入力
下書き BOX 下書き 線分
削除 範囲削除

屋根面 確定

登り方向
登り方向

勾配 4.0 = 4寸0分
勾配単面 勾配全面

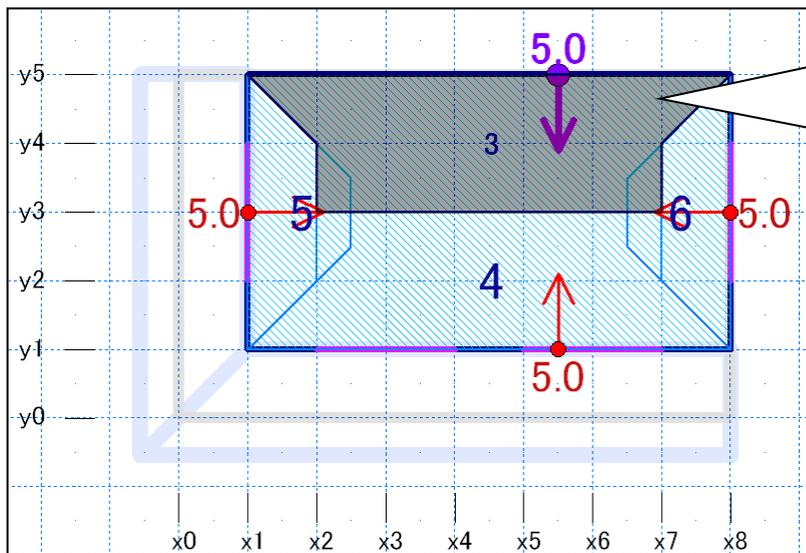
軒出 増減幅(mm) 100
軒出調整

削除
屋根 単面削除
屋根 全面削除
 単面削除後、下書きに戻す

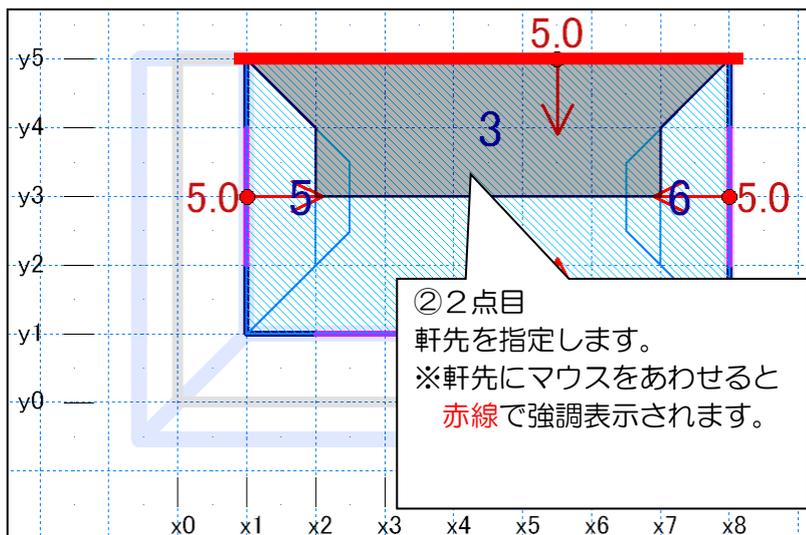
閉じる



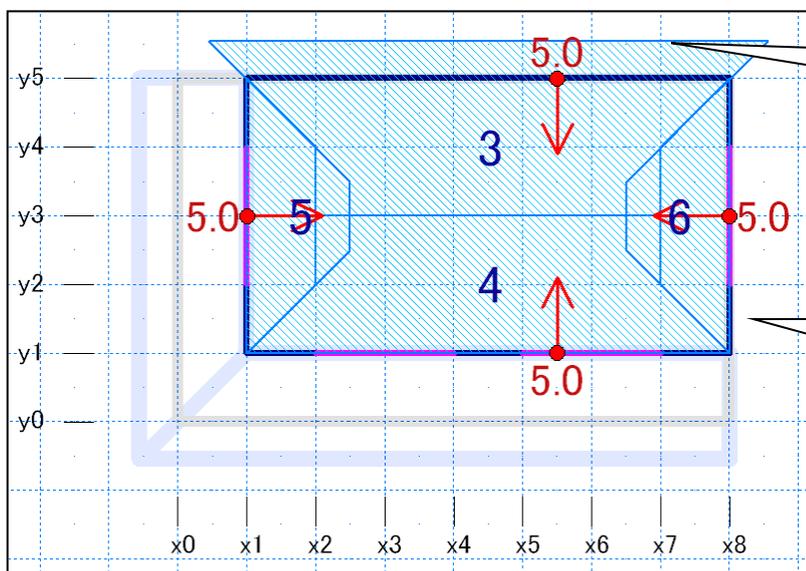
2-3 軒出



①1点目
屋根面をクリックすると強調表示されます。



②2点目
軒先を指定します。
※軒先にマウスをあわせると
赤線で強調表示されます。

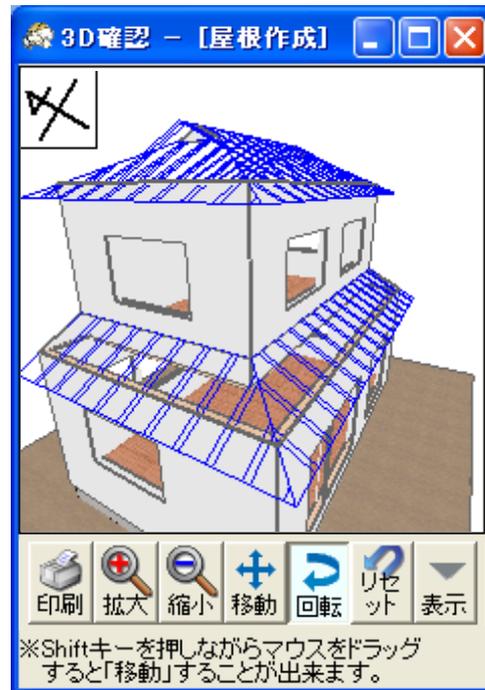
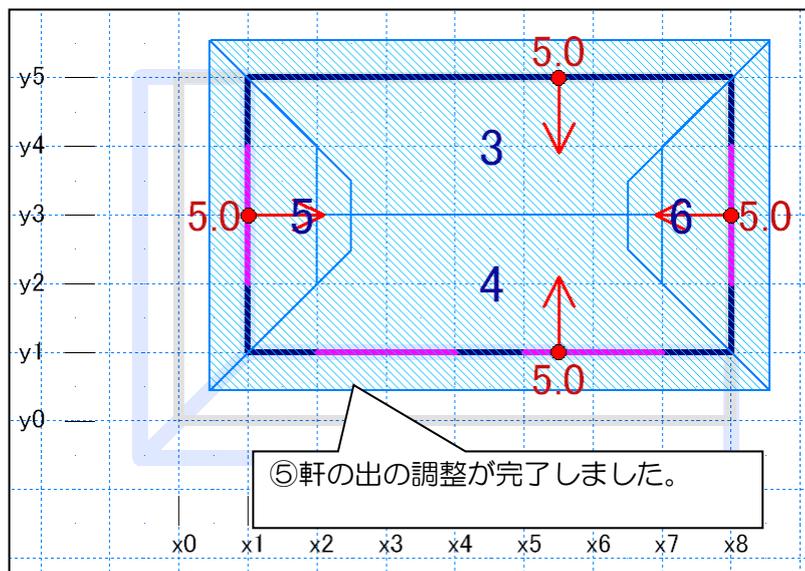


③軒の出が長くなりました。

④同様にして、他の屋根面についても軒の出を調整します。



完成



【軒天の調整】

必要に応じての軒天(水平軒天、勾配軒天)を調整します。
軒天の調整方法については、P15「1-5 軒天」を参照ください。

以上で屋根の作成(例題2)は終了です。

■ユーザーサポート

お問い合わせ先 : 株式会社インテグラル
サービス時間 : 平日 10:00~12:00、13:00~17:00
電話番号 : 050-3104-6477
FAX番号 : 029-850-3334
電子メールアドレス : homes-support@integral.co.jp

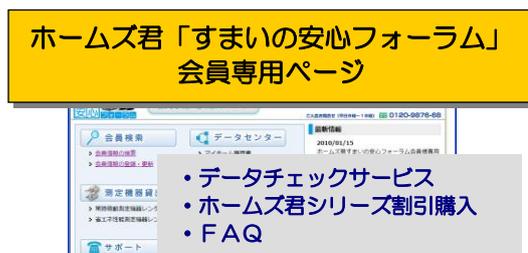
※製品の使用方法についてのお問い合わせは、製品に同封の
「お問い合わせFAXシート」にご記入の上、弊社までFAXにてお送りください。
※弊社指定の休業日（土曜、日曜、祝祭日、年末年始など）はFAXおよびメール
にてお問い合わせを受け付けております。（回答は翌営業日以降となります）
※お問い合わせ前に、サポートページ(<https://www.homeskun-f.com/support/>)、
ホームズ君FAQ(<https://faq.homeskun.jp/>)各Webページもご参照ください。

■ホームズ君.com とホームズ君「すまいの安心フォーラム」 会員専用ページのご案内



www.homeskun.com

製品の最新情報やセミナー情報などを
案内しています。



www.homeskun-f.com

製品のアップデート情報や製品の良くある質
問(FAQ)などを公開しています。

住宅性能診断士 ホームズ君「省エネ診断」 操作マニュアル（屋根入力）

2008年 2月18日 初版発行
2025年 2月 7日 第9版発行

著作/発行 株式会社インテグラル

〒305-0046 茨城県つくば市学園南2丁目7番地
TEL:029-850-3331 FAX:029-850-3334
<https://www.integral.co.jp/>

無断転載を禁ず